産業応用フォーラム

「需要設備の安全性と電力品質の向上を目指した保全高度化技術」

概要：需要設備の保全高度化は，需要設備を長期間にわたり安全安心に使用するために極めて重要です。保全高度化に関する動向としては，経済産業省を中心として電気保安のスマート化が掲げられ，スマート保安官民協議会傘下で保安業務に関する「アクションプラン」が策定されるなど，具体的な取り組みが始まっています。電気学会産業応用部門スマートファシリティ技術委員会では，需要設備の保全に関する調査専門委員会を継続的に設置し，当該分野に関わる最新の技術や最先端の研究を調査してきました。直近では，「需要設備の安全性と電力品質の向上を目指した保全高度化技術調査専門委員会」（委員長：西村和則，設置期間：2019 年 9 月～2021 年 8 月）において，安全対策技術，設備保護技術，電力品質適正化技術，データ活用技術などの分野毎に調査を実施し，調査結果を電気学会技術報告として出版しました。本フォーラムでは，調査を実施した委員会のメンバーを講師とし，需要設備の保全分野に関心のある技術者，研究者，学生等の皆様を広く対象として，技術報告を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちいたしております。

日時：2022 年 12 月 13 日（火）13:30～16:50

会場：電気学会　会議室 および ZOOM によるオンライン参加 のハイブリッド開催
東京都千代田区五番町 6-2　HOMAT HORIZON ビル 8 階
JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車，徒歩 2 分
TEL: 03-3221-7312　　https://www.iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf

オンデマンド配信：準備が出来次第～2024 年 12 月末

注意事項：新型コロナウイルスの感染状況により，オンライン参加のみへの変更，または会場を変更する場合があります。その場合には，おおむね開催 2 週間前までに，申込者宛に電子メールにて連絡します。

プログラム：

1.	13:30－13:35	開会，主催者挨拶	
2.	13:35－13:40	開催委員会挨拶	西村　和則（広島工業大学）
3.	13:40－14:00	漏電検出，地絡検出等の安全対策技術	佐藤　直之（東北電気保安協会）
4.	14:00－14:20	設備劣化診断技術	末長　清佳（電気科学技術アカデミー）
5.	14:20－14:40	設備保護技術－雷保護を中心として－	登野城貴矩（昭電）
		休　憩（15 分間）	
7.	14:55－15:15	電力品質適正化技術	小林　　浩（トーエネック）
8.	15:15－15:35	保全データ活用技術(1)－工場設備での事例－	福島　宗次（富士電機）
8.	15:35－15:55	保全データ活用技術(2)－通信用電気設備での事例－	金谷　會城（NTT アノードエナジー）
9.	15:55－16:15	設計・施工管理技術	酒井　重嘉（関電工）
10.	16:15－16:45	総合まとめ，総合討論	
11.	16:45－16:50	主催者挨拶，閉会	

司会進行：中村　　格（鹿児島工業高専）

テキスト：電気学会技術報告 第 1532 号「需要設備の安全性と電力品質の向上を目指した保全高度化技術」をテキストとして使用します。希望者は，電気学会電子図書館から各自で購入してください。
電気学会電子図書館 ： https://www.bookpark.ne.jp/ieej/
（価格：書籍版：会員 ¥2,864 一般 ¥4,092　PDF 版：会員 ¥4,296 一般 ¥6,138　いずれも税込）

参 加 費：会員（正員）　¥6,000-（税込）　非会員（一般）　¥10,000-（税込）
会員（准･学生員）　¥3,000-（税込）　非会員（学生）　¥5,000-（税込）

申込方法：ホームページからお申込みください（締切：12 月 2 日）：https://www.iee.jp/blog/forum/
申込フォームの備考欄に，参加方法（現地参加，または，オンライン参加）を入力してください。
会場定員 20 名，総定員 250 名に達し次第，それぞれ締め切らせていただきます。なお，定員を超えた場合には，会員を優先しますので，ご了承願います。（非会員の方は，是非この機会に電気学会へのご入会をご検討下さい。）
問合せ先：（株）トーエネック　小林　浩　E-mail : hiroshi-kobayashi (at) toenec.co.jp

参加費支払方法：現地参加，オンライン参加に関わらず，Web からのクレジットカードによるお支払いとなります。決済後は Web サイトにて領収書が発行されます。

主　　催：電気学会産業応用部門スマートファシリティ技術委員会（福山　良和 委員長）